



I Promise our
Performance for your
Profit

製品導入事例

インターネットVPN接続のセキュリティレベルを多要素認証で強化。 仮想デスクトップサービスの競争力強化に成功

富士通 株式会社 様



PROFILE

トータルソリューションビジネスを提供する総合ITベンダー。ICT分野において各種サービスを提供するとともに、サービスを支えるプロダクトおよび電子デバイスを開発、製造、販売、保守運用。
設立1935年。資本金3,246億円（2016年3月末現在）。

本店：神奈川県川崎市中原区上小田中四丁目1番1号
本社：東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター



多要素認証システム

AuthWay

富士通の仮想デスクトップサービス「V-DaaS」は、AuthWayを用いて多要素認証を実現。インターネットVPN接続のセキュリティレベルを高めることに成功しました。



仮想デスクトップサービスのインターネットVPN接続にワンタイムパスワードを導入して、セキュリティレベルを高めたい



AuthWayで低価格かつ柔軟な多要素認証を実現。クラウドサービスのオプションメニュー充実、競争力強化にも貢献

スモールスタートしやすさ、拡張しやすさが魅力の「V-DaaS」

外出先や自宅でもオフィスと同様の業務環境を実現できる「デスクトップ仮想化（VDI: Virtual Desktop Infrastructure）」は、情報漏えい防止、クライアントのOSや利用アプリケーションの管理一元化、災害時の事業継続などのメリットから、導入企業が増えています。在宅勤務、サテライトオフィス、テレワークなど、ワークスタイルが多様化するなかで市場拡大は続き、利用シーンも、オフィスのみならず、自治体、病院、店舗、大学などへと広がっています。

従来、デスクトップ仮想化は、1社ごとに個別システムを構築するオンプレミス型でした。複数社のシステムを同一基盤で構築するクラウド型サービスが日本で登場したのは2014年のことであり、その先

鞭をつけたのが、富士通の「FUJITSU Managed Infrastructure Service 仮想デスクトップサービス V-DaaS（以下、V-DaaS）」です。

V-DaaSは、仮想PCの端末にはOSやアプリケーションを一切搭載することなく、すべてサーバ上で一括管理します。また、仮想デスクトップ基盤の運用管理は富士通アドバンスドLCMセンターに任せおけるため、利用企業では運用管理の手間が発生しません。

「スピーディかつ安価に仮想デスクトップをすぐに使い始められることと、スモールスタートしやすく拡張もしやすいことが、V-DaaSの大きな特長です」と、富士通株式会社 マネージドインフラサービス事業本部 エンドユーザサービス統括部 DaaS

富士通株式会社
マネージド
インフラサービス
事業本部
エンドユーザ
サービス統括部
DaaSソリューション部
マネージャー
小関 統一郎 氏



「アイビーキューブは、われわれのビジネスモデルに合わせて、ライセンス体系やカスタマイズの対応を柔軟に考えてくれます」

ソリューション部 マネージャーの小関統一郎氏。わずか20ユーザ（20 ID）から契約でき、解約したり拡張したりの契約変更も最短3カ月単位でこまめに行えるのは、V-DaaSならではの魅力。約70社・約2万IDの契約を擁するわが国最大級の仮想デスクトップサービスとなっています。

ワンタイムパスワードを導入して多要素認証を実現

仮想PCのCPU・メモリ等のリソース追加、仮想基盤の冗長化、ウイルス対策、Active Directory連携、外部インターネット接続など、多種のオプションメニューが用意されているのも、V-DaaSの特長です。

外出先、自宅からインターネットを使ってアクセスできるようにするためには、インターネットVPN接

続オプションを提供してきました。

「外部インターネットを経由するのに、IDとパスワードだけではセキュリティが不安だというお客様もおられます。そこで、『ID+パスワード』に『ワンタイムパスワード』を加えて、多要素認証のできる環境づくりに取り組みました」と小関氏。

複数のワンタイムパスワード製品を比較検討した

うえで、採用したのがアイビーキューブの「AuthWay」です。AuthWayは、ワンタイムパスワードによる二要素認証と、スマートデバイスを利用した二経路認証に対応した総合的な多要素認証システムです。

「アイビーキューブは、VPNへの同時アクセス数に応じたクライアント・アクセス・ライセンス（CAL）

